

令和5年度 さんねつと事業報告

地域生活支援センターさんねつと

1.はじめに

柏原市在住の障がいのある方に対し、自立した生活が送れるよう各種の相談を行うとともに、各種障害福祉サービス利用のための援助、調整を行った。

また、各種障害福祉サービスが円滑に利用できるよう、サービス等利用計画の作成及び適切なサービス提供状況を確認するモニタリングを行った。

その他、必要に応じて家庭や事業所訪問、サービス担当者会議の開催等、当事者を始め関係機関等との連携を図りながら、本人ならびにその家族の福祉の向上を図った。

特に、令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移ったことで移動等の制限が少なくなったため、可能な限り家庭や各事業所を訪問して利用者の状況の把握や関係者との情報共有に努めた。

2.柏原市障害者支援センター運営事業

柏原市からの委託を受けている一般相談については、実数として121人(内サービス等利用計画契約者99人)の方々に支援を行った。支援方法は関係機関との調整が一番多く、全体の48%を占めている。これは利用者への支援だけではなく、関係機関がチームとして一体的に支援する必要性が高まっている結果と言える。述べ相談件数は4,156件と前年度に比べて増加している。

相談の実数は昨年とほぼ変わらないが、相談件数は約800件増加している。ご本人だけでなくご家族からの相談及び新規の計画相談につながるケースが増えた。

障害福祉サービスの利用については、柏原市をはじめ近隣市の事業所の開拓、利用調整並びに利用定着等、社会資源の開拓とサービスの向上に努めた。

(1) 相談支援を利用している障がい者等の人数

	人数	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳	その他
障害者	118	3	5	82	11	10	0	7
障害児	2	0	0	2	0	0	0	0
計	120	3	5	84	11	10	0	7

4年度 123 2 5 86 15 8 0 7

(2) 支援方法

訪問	来所 相談	同行	電話 相談	電子 メール	オンライン 相談	個別 支援 会 議	関係 機関	その他	計
433	87	26	393	87	0	36	1,050	63	2,175

4年度 362 83 29 330 97 0 30 906 83 1,919

(3) 支援内容

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援
5年度	1,458	99	467	386	4	762	162

4年度 1,061 291 418 325 1 492 66

	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計
5年度	363	119	140	55	141	4,156

4年度 163 51 193 149 131 3,331

3. 障害福祉サービス等利用計画（計画相談）

今年度、計画相談の登録者は99人で、他市の事業所の利用も含めてサービス等利用計画の策定、モニタリングを行った。

利用者の障がい種別に大きな変化は見られず、療育手帳を所持されている方が多い。令和5年5月に新型コロナウイルスの感染症の位置づけが5類に移行したため、徐々にご自宅や各事業所への訪問を増やし、利用者の状態把握や事業所からの情報を得るよう努めた。

地域からのニーズに応えるために登録者数の増を目指し、柏原市障害福祉課と連携して、令和5年度下半期に新規の計画相談を積極的に受けて登録者数を増やしたが、計画相談を終了するケースもあった為、実数としては増加はなかった。令和6年度についても引き続き新規のケースの受け入れを行っていく。

登録者数	知的障害	身体障害	重症心身障害	精神障害	発達障害	その他	合計
障害者	76	2	5	8	8	0	99
障害児	0	0	0	0	0	0	0
合計	76	2	5	8	8	0	99
4年度者	78	1	5	8	7	0	99

計画作成・モニタリング件数

計画作成	92
モニタリング	320

合計 412

4年度 計画 90 モニタ 332 合計 422

4. 当事者支援（余暇活動への支援、社会参加の促進等）

当事者支援活動は、よりご本人たちが主体となって活動していくことを目的に、余暇支援、社会参加及び日常生活技術の習得等を目的に運営している。

令和5年度に活動を見直し、さをり織りは当事者の会役員会と一緒に検討し活動を終える事にした。

又、計画相談の支援を行う中で詐欺や被害に遭う方がおられ、柏原市に障がい者を対象にした勉強会がないため、令和5年12月に講師を招いて柏原市在住の障がい者を対象に「障がい者のための勉強会」を実施した。

令和2年度以降、コロナ禍で活動の見直しを行い4つの活動を終えたが、じゃむの会に加え障がい者のための勉強会を継続し、令和6年度は社会福祉法人の地域における公益的な取り組みの一環として事業を行っていく。

じゃむの会

月 日	内 容	参加人数	場 所
3月25日	花見	11	ひなた
6月10日	ボウリング	14	明邦ボウル
9月9日	音楽祭	13	ひなた
11月11日（雨天中止）	みかん狩り	11	やまびこ園

障がい者のための勉強会

月 日	内 容	参加人数	場 所
12月2日	消費者トラブルの対処 法	17	ふれあいステーション

5. 重点項目

(1) 相談支援事業の標準化と事業の安定運営

市内の相談支援事業所と連携し、地域の障がい福祉において中核的な役割を担った。

安定運営のため計画相談支援の登録者増に取り組むとともに、加算対象となる研修を受講し、算定できる加算を増やすことで収入増を図った。

(2) 法人内連携の強化

高井田苑、ホームにし及びさんぽーとと連携し、各事業所の新規利用者の獲得に向けて情報共有や利用調整を行った。

(3) 相談支援専門員の支援技術の向上

各種研修を通して、相談支援専門員の支援技術の向上を図った。

さんねっと、さんぽーとの職員で事業所内での勉強会を行い、スキルアップを図った。

(4) 人権擁護意識の啓発と虐待防止等の研修

法人内外の人権研修や虐待防止の研修に参加し人権意識の向上を図った。

6. 終わりに

令和5年度は新型コロナウイルスの制限が緩和され、一部の入所施設等では訪問に制限がみられたものの、相談支援ではコロナ過前の状況に戻った。

ニーズに応じるため新規の計画相談の利用者を受けて福祉サービスに繋げていくことが出来たが、逆に計画相談を終了したケースもあった為、令和6年度も新規の計画相談を受けることにより、障がい者が安心して適切に障害福祉サービスを活用できるように調整していきたい。

(別紙) 令和 5 年度研修実績

実施日	研修内容	対象者
4/27	ひきこもりの障がい者に対する支援（施設内研修）＜講師：武田塾SV職員＞	管理者 相談員 2 名
6 月 14 日	社会福祉施設、経営者部会総会、研修会	管理者
7 月 3 日～ (WEB 研修)	精神保健福祉業務従事者研修 (ベーシック研修 B)	管理者
9 月 8 日	発達障がい者支援センターアクトおおさか主催 支援者対象基礎セミナー	相談員 1 名
9 月 8 日	中川内圏域高次脳機能障がい支援連絡会研修	相談員 1 名
9 月 1 7 日	第 19 回子育て支援講座	相談員 1 名
9 月 2 7 日	メンタルヘルスについて (柏原市自立支援協議会研修)	管理者
10 月 1 2 日	強度行動障がい支援者養成研修（基礎）	管理者
10 月 26 日	高井田苑内人権研修	管理者 相談 2 名
11 月 20 日	医療法人清心会ちのくらぶ見学	管理者 相談 2 名
11 月 24 日	柏原市作業所連絡会研修	相談員 1 名
11 月 27 日	南河内障害者支援センター研修	相談員 1 名
12 月 13 日	強度行動障がい支援者養成研修（実践）	管理者
2 月 15 日	相談支援専門員現任研修	相談員 1 名
2 月 22 日	障害者支援施設光園見学	管理者 相談員 2 名